

令和7年度 第2回学校運営協議会 議事録

出席者：西川 隆蔵委員・染川 佳紀委員・品川 隆一委員・校長・教頭（・首席）

（1）開会

- 校長より
- ・あいさつ

（2）協議事項

- ・令和7年度上期報告・学校経営計画における進捗状況の報告
→pp スライド（動画）による説明：資料「令和7年度戦略進捗報告」
「どういう生徒を育成するか」
地域や産業界との積極的な連携
→帝塚山学院大学・藍野大学・大阪人間科学大学・大阪芸術大学
みながく・DOROPRO・グランドワークス
DX ハイスクール事業
→マルチメディアルームを Open・体育館音響の新調・情報発信力の向上
「スクール AI」の導入・みながくとの提携
令和8年度「情報Ⅱ」開講
広報活動の展開
→生徒主導の魅力発信・写真同好会による体育祭、文化祭の動画作成
ハード面・制度面での充実
→トイレの様式化・令和8年度末までに、様式化 100%
食堂の空調化・教育庁による設定に向けて調査
姉妹校提携に向けて・令和7年度中に、姉妹校提携（調印）予定

（3）授業および施設見学

- ・授業見学
- ・施設見学
畑・西館ホール（LAN 教室）・フレンドルーム・グラウンド・看護等・ほっとコーナー

（4）質疑応答・情報共有

- ・校長
本日、教育庁振興室長他指導主事が来校。AI の学校導入に向けた情報交換を実施。つけさせるべき力についての再考。発達段階において、どう向き合うか。
中学生の進路状況について。
堺東高校の使命は？
- ・教頭
小学生息子の家庭学習に、1人1台端末で AI 学習ドリルを使っていた。昨日職会で、資料を作成するのに生成 AI を活用。新学習指導要領の論点整理を NotebookLM で要約し、Copilot で Powerpoint でスライドを作成。
- ・西川委員

大学では、事務方で使用している。

学生は、使う立場。AI を使って、思考を深めるよう指導しているが、ただ使っているだけなのが現状。使わない選択肢は今後ない。出てきたものに、自分の思考を入れてほしい。

学間、連携の中に学びを深める。社会共創。実績をつける。食環境学部と大船渡高校と連携。Branding の強化になる。

- ・品川委員

堺市生成 AI を活用した英語教育。ICT の活用について再考

教員生徒 AI の活用。学年だより等で、ChatGPT 活用。NotebookLM の導入。明日職会でプレ予定。どの段階で、生成 AI と向き合うか。教員間で差があることが現状。

現在進路懇談。AI の導入壁打ちによって、学びを深められる。一方、中学生段階の活用による影響と効果。

中学生は、公立どうせ割れるやろ？という認識

特色ある学校気になる。

立地近い高校を志望傾向。何を目的に志望するのか？特徴を直接発信する。打ち出しが私学より弱い。公立側の打ち出し大切。私学の授業料無償化・施設は魅力。

堺東高校が少人数での講座や様々な施設で授業が展開されていることをどうアピールするか？ 授業が魅力ではないか。

- ・染川委員

個別学習について活用。高校受験がターゲットになると、問題作成に活用。

発達段階で、どう向き合うか。

現在、進路懇談の状況を受けて、今から先願/併願を考えていく段階に入る。

公立高校であっても、新しいことを生み出すことが大切。

高校に何かを強く求める生徒が減ってきている。

塾や中学校の先生に堺東高校の特色を知ってもらうことが大切。

(5) 連絡事項

- ・次回の開催について

(6) 閉会

校長より

- ・あいさつ